

**医療法人
さっぽろ脊椎外科クリニック**

整形外科 放射線科 リハビリテーション科 麻酔科(佐藤 公一医師)



■住所／札幌市北区北13条西2丁目2-1
■予約専用ダイヤル (8:45~17:00)
TEL.011-729-4154

■電話番号／011-729-1154
■診療時間 ※完全予約制
月～金 9:00～12:30 14:00～16:30
■休診日／土、日、祝日
<https://sapporo-spine.com/>

地下鉄南北線北12条駅・地下鉄東豊線北13条東駅のどちらからも徒歩圏内であり、JR札幌駅も近いなど利便性が良く、道内各地から多くの患者が訪れている。外来患者向けに駐車場も備えている

首(頸椎)や腰(腰椎)など、背骨(脊椎)に起因する疾患を扱う専門クリニック。脊椎外科分野に豊富な知識と臨床経験を持つ3名の日本整形外科学会認定整形外科専門医と専任の麻酔科医が、診断から治療・手術、リハビリまで一貫して診療にあたる。

最新の検査機器や治療を積極的に取り入れ、患者の体に負担の少ない「低侵襲治療・手術」に努めるとともに、遠方からの来院も考慮し、できるだけ当日に診断結果や治療方針を伝えるなどクリニックならではのフットワークの良さを心掛けている。




高度な医療機器を取り揃えた手術室。最新の術式である「OLIF」「XLIF」ほか、各種の脊椎低侵襲手術を実施している

リハビリ室には筋力増強に効果的な「レッドコード」を導入。脊椎疾患に専門的な知識を持つ理学療法士が在籍し、患者一人ひとりに合ったリハビリプログラムを指導する

北海道医療情報 2022 / 医療の現場から

専門医に聞く》》 腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアなど脊椎疾患に対する低侵襲治療

脊椎の健康を保ち、健康寿命を延ばす

**脊椎疾患について
教えてください。**

山田 脊椎(背骨)は、上から頸椎、胸椎、腰椎、骨盤をつくる仙骨からなります。脊椎は体を支える重要な部であり、同時に脳からの指令を上肢や下肢に伝えられる神経の通り道でもあります。

脊椎に問題があると、首や腰、背中の痛み、上肢や下肢のしびれなどの症状が出ます。放置していると、痛みで長く歩けなくなるなど、生活の質がどんどん下がっていきます。さらに進行すると、歩くことはおろか、座ったり寝たりすることすら難しくなり、日常生活に大きな支障を来たすこともあります。

濱田 中高年に圧倒的に多いのは「腰部脊柱管狭窄症」です。腰にある椎間板や韌帯、関節が老化により変形・肥大し、神経の通り道が狭くなるために起こります。腰痛や尻尾の痛み、下肢の痛みやしびれのため、長い距離を歩けない(間欠性跛行)などの症状がみられます。

若い方にもよくみられる「腰椎間板ヘルニア」ですが、この病気も加齢とともに起こりやすくなります。腰の骨と骨の間にクッシング役として働いている椎間板が飛び出し、神経を圧迫することで腰や下肢が痛みます。

神田 近年は顕微鏡などを使い、小さな傷で身体の負担の少ない低侵襲手術が行えるようになりました。顕微鏡下手術で

神田 下肢痛やしびれ感、間欠性跛行の症状が出たら、黄色信号! 長引くコロナ禍での外出歴で歩く機会が減少し症状が自覚しにくい現状なので、ご家族の気づきも大事です。

治療に早すぎることはありません。病状が進行して歩けなくなってしまう前に、医師の診察のもと正しい治療を受けてほしいです。

濱田 症状が軽いうちには、薬やプロック注射、リハビリなどで痛みを緩和する保存治療が基本になります。保存治療を続けても痛みが改善せず、病状も進んでいる場合は、手術治療が次の選択肢になります。一度手術を受けて回復すれば、以降は痛みをほとんど忘れて生活ができる可能性が高いです。痛みやしびれなどの症状で「やりたいことができない」とか「日常生活が困難になつたら、手術を検討するタイミング」といえます。アクティブな老後を過ごしたいと早い段階で手術を決断される患者さんも多いです。

山田 これからの中高年に、元気に自立して日常生活を送ることができる「健康寿命」を延ばすことが大切。これからも健康的で活動的な生活を送りたいと考えているのであれば、専門的に診る病院を受診し、自分の背骨がどのような状態なのかを確かめてみてください。

濱田 首や腰の痛み、下肢のしびれを「年だから」とあきらめたり、「仕方ない」と我慢したりせず、一度、脊椎を専門的に診る病院を受診し、自分の背骨に合った治療法を見つけることが重要です。

神田 趣味のスポーツを続けたいと手術を希望する患者さんもいれば、「少しの時間だけ買い物に出かけられればいい」という患者さんもいます。治療に何を求める、今後どういった生活を望んでいるのか医師とじっくり話し合い、患者さん一人ひとりの病状と要望に合った治療法を見つけることが重要です。

最後に、首や腰の痛みに悩む患者さんにメッセージをお願いします。

山田 これからの中高年に、元気に自立して日常生活を送ることができる「健康寿命」を延ばすことが大切。これからも健康的で活動的な生活を送りたいと考えているのであれば、専門的に診る病院を受診し、自分の背骨がどのような状態なのかを確かめてみてください。

濱田 首や腰の痛み、下肢のしびれを「年だから」とあきらめたり、「仕方ない」と我慢したりせず、一度、脊椎を専門的に診る病院を受診し、自分の背骨に合った治療法を見つけることが重要です。

神田 趣味のスポーツを続けたいと手術を希望する患者さんもいれば、「少しの時間だけ買い物に出かけられればいい」という患者さんもいます。治療に何を求める、今後どういった生活を望んでいるのか医師とじっくり話し合い、患者さん一人ひとりの病状と要望に合った治療法を見つけることが重要です。

腰痛や首・背中の痛み、下肢の痛みやしびれの原因となる脊椎疾患は中高年に多く、高齢社会の進展に伴つて患者数が増加しています。重症になると歩行に影響が出る場合もあり、生活の質(QOL)の低下や健康寿命が短くなる原因にもなります。

脊椎疾患はどのような病気なのか、原因や治療法などについて、長年にわたり脊椎疾患の診療を専門としたさっぽろ脊椎クリニックの山田恵二郎院長、濱田一範副院長、神田翔太郎医師にお話を伺いました。

山田 恵二郎 院長

1995年京都府立医科大学医学部卒業。勤医協札幌中央病院、京都民医連中央病院、札幌中央病院を経て2015年に開院。日本整形外科学会認定整形外科専門医

は、患部を拡大して立体的に確認できるので、より精緻な施術が可能です。傷口が小さいので出血が少なく、術後の回復が早いのが最大の利点。早くからX-LIFは体の側方から患部にアプローチします。特殊な手術器具を使い、最小限の切開で神経の圧迫を解除した、安定した脊椎の固定が行えます。また、手術中の出血量も少なく、身体に対する負担はさらに小さくなります。これらの術式は十分なトレーニングを積んだ実施資格を有する医師しか行えませんが、当院では3名の医師全員が実施資格を有しています。

山田 最新の低侵襲手術が「OLIF」「XLIF」という術式です。背中を大きく切開して患部にアプローチする従来の術式に対し、OLIFやXLIFは体の側方から患部にアプローチします。

傷口が小さいので出血が少なく、術後の回復が早いのが最大の利点。早くからX-LIFは体の側方から患部にアプローチします。特殊な手術器具を使い、最小限の切開で神経の圧迫を解除した、安定した脊椎の固定が行えます。また、手術中の出血量も少なく、身体に対する負担はさらに小さくなります。これらの術式は十分なトレーニングを積んだ実施資格を有する医師しか行えませんが、当院では3名の医師全員が実施資格を有しています。